

世界大学ランキング100位以内を早期に達成するため、「国際共同研究の促進」「国際的な研究環境整備」「強い分野の更なる強化」などの研究力強化に取り組む

■ 現状と目標

- ・ Times Higher Educationによる世界大学ランキング100位に一番近い（2012年度128位、国内3位）

➡ 本事業で【研究力強化】・【研究環境改革】を図る

■ ランキング向上を目指す上での課題

- ・ 研究、論文引用、国際 + 教育 の評価向上が急務

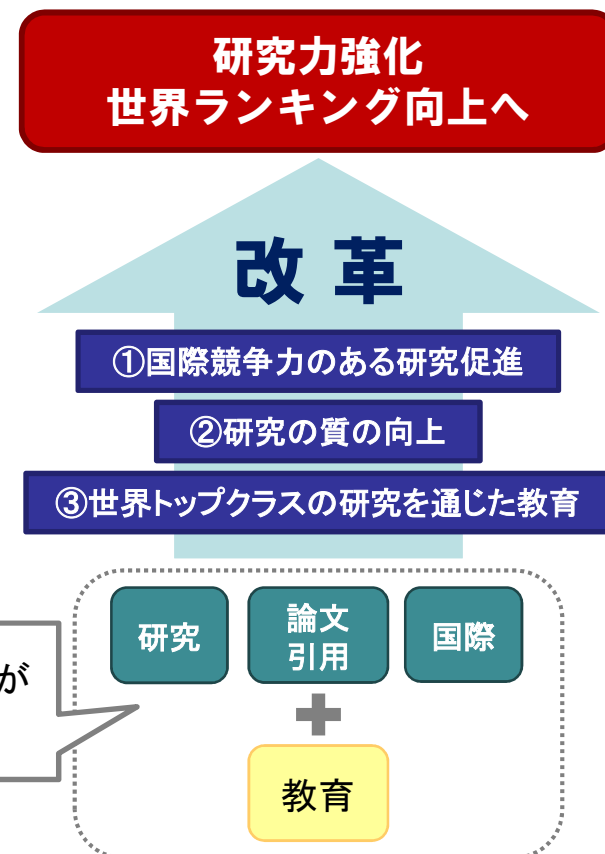
■ 具体的な方針及び取組

< 【研究力強化】の方針 >

- ① 国際共同研究の促進及び国際的な研究環境整備
- ② ①に加え、以下を強力に進める
 - i) 強い分野の更なる強化
 - ii) 本学の研究力が生きる次世代分野の育成
 - iii) 強い分野を支え、次世代分野を生み出す、広範で基礎的・基盤的な分野の維持

< 【研究環境改革】の推進 >

上記方針に基づき研究環境改革に取り組むため、国内外からリサーチ・アドミニストレーター（URA）等の研究支援人材を雇用し、国際的な研究者支援体制を構築する

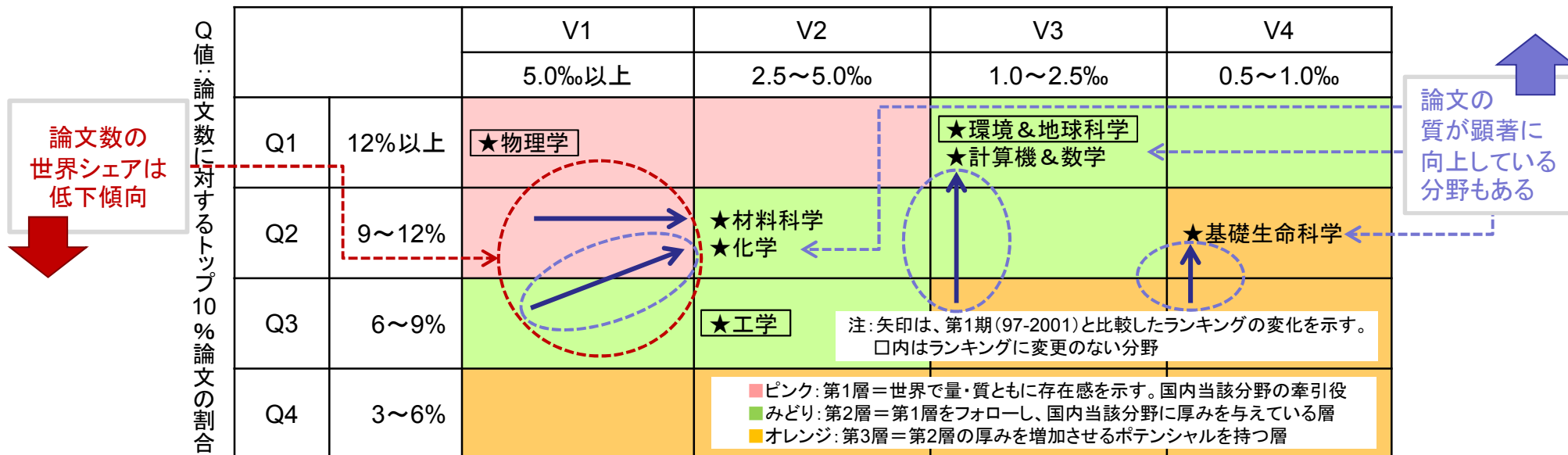


文部科学省「研究大学強化促進事業」東京工業大学 【現状分析・課題】

■ 現状分析

V値: 論文数世界シェア

(2007-2011の論文データに基づく研究ポートフォリオ8分野別から分析)



■ 目標と課題

(注) 科学技術政策研究所調査資料213(2012年8月)を基に作成

本事業における目標:

「早期の**世界ランキング100位入り**を目指す」

日本の大学で世界ランキング100位に一番近い(2012年128位、国内3位)

本学 長期的目標:

「2030年に**世界トップテンの研究ユニバーシティ**へ」

課題

「研究」「論文引用」「国際」+「教育」の評価向上

具体的課題

①国際競争力のある研究促進

②研究の質の向上

③世界トップクラスの研究を通じた教育

文部科学省「研究大学強化促進事業」東京工業大学 【研究力強化の方針・目標】

国際競争力のある研究推進、研究の質の向上を図るため、本事業の支援を得て研究力強化を進める。

研究力強化の目標

- ・国際共著論文の比率の向上
- ・論文数におけるトップ10%論文数の割合（Q値）の向上



目標に基づいた方針

研究力強化の方針

- ・① 国際共同研究の促進及び国際的な研究環境整備
- ・② ①に加え、以下を強力に進める
 - i) 強い分野の更なる強化
 - ii) 本学の研究力が活きる次世代分野の育成
 - iii) 強い分野を支え、次世代分野を生み出す、広範で基礎的・基盤的な分野の維持

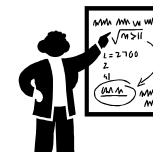
大学改革への取組

- ・優秀教員の確保を目指した人事制度改革を進める
- ・大学院教育の改革を進める
- ・教員構成の多様化を進める

相互作用



研究を支える人材・組織の整備



リサーチアドミニストレーター（URA）等の配置・総合研究支援センター（仮称）の設置

事務職員

高度専門人材

プロジェクト経験者

文部科学省「研究大学強化促進事業」東京工業大学 【研究環境改革・研究支援人材確保への取組】

研究環境改革



①国際共同研究の促進及び国際的な研究環境整備

- ・ 国際共同研究の促進
- ・ 外国人研究者の雇用拡大
- ・ 海外からの研究者の受け入れ環境整備



②強い分野の更なる強化と 本学の研究力が活きる次世代分野の育成

- ・ 異分野融合・課題対応型研究の促進



③強い分野を支え、次世代分野を生み出す、 広範で基礎的・基盤的な分野の維持

- ・ 若手研究者の支援、科研費等の獲得支援に係る諸活動
- ・ 設備共用化の促進（共用設備等の充実、機器運用人材の確保）



④研究力強化全般に係る対応

- ・ 調査分析の実施、研究戦略立案推進の支援
- ・ 国際法務、コンプライアンス等対応

世界標準の研究支援体制



国際的な研究
アクティビティの向上



魅力的な研究環境



世界
ランキング
向上へ



研究支援人材確保・体制整備

①リサーチ・アドミニストレーター（URA）等の 研究支援人材の確保

- ・ URA等の研究支援人材の確保によりこれらの研究環境改革を推進

②総合研究支援センター（仮称）の設置

- ・ URA等を機能的・効果的に配置し、研究者の研究時間の確保や研究の質の向上に貢献